

2021年、CAREがパートナーとともに実施したプロジェクトを通じて、800万人の人々の生活に、よい影響をもたらすことができました

ケア・インターナショナルは昨年、2030年までに「2億人が貧困と社会的不公正を克服できるよう支援すること」を約束しました (CARE Vision 2030)。そして、初年度となった2021年において、CAREとその多くのパートナーによって実施された382のプロジェクトを通じて、62か国の800万人の生活に前向きな変化をもたらしました。

これらの前向きな変化には、人々の経済状況の改善、食料、健康、水、またはその他のサービスへのより良いアクセス、より大きな力を得たという実感、そしてこれらすべての中心にあるジェンダー平等の進歩が含まれます。2021年に実施したプロジェクトの80%近くにおいて、女性と女兒の権利や機会の平等改善に貢献していることが示されました。

これらの変化を測定するために、CAREは国連の持続可能な開発目標 (SDGs) と密接に連携する30の指標を開発しました。SDGsは、貧困と闘い、地球環境を保護し、すべての人々の平和と繁栄を確保するための道筋をより適切に方向付けるための一連の目標です。

昨年、私たちは17のSDGsのうち12のゴール達成に向けて貢献しましたが、特にCAREの使命の中核をなす「不平等の縮小」、「貧困の終結」、「ジェンダー平等」において、大きなインパクトを与えることができました。

CAREの活動において、世界中のパートナーと連携することは、これらの目標を達成するための鍵となります。私たちは、さまざまな地域の市民社会組織や社会運動、地方政府や国の政府、国連を含む多国籍組織、国際NGO、そして私たちが活動するプログラムや国における専門家個人などとも協力しています。

これまでの膨大な取り組みにもかかわらず、COVID-19パンデミックは、CAREのプロジェクトの実施、そして2021年の人々の生活へのインパクト測定に悪影響を及ぼしました。健康危機のこの間に課せられたさまざまな制限により、関連データの収集がしばしば困難になりました。さらに、パンデミックが与えた社会的および経済的悪影響は、プログラム参加者の多くの人々にとって、前向きな変化を覆い隠してしまっている可能性があります。



この傾向は 2022 年には逆転する可能性もありますが、私たちは今年、重大な新しい課題にも直面しています。紛争、気候変動、生活必需品の価格高騰により、貧困と飢餓に直面している人々の数が急速に増加しており、その数はすでに 8 億人という驚異的な数字に達しています。CARE とそのパートナーは、ビジョン 2030 がこれらの憂慮すべき課題に立ち向かい、世界中で平等と尊厳を高めるための強力な手段となるよう、引き続き、取り組んでいきます。